



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,681	24.7	138	32.0	131	24.2	87	26.7
28年3月期第1四半期	1,348	—	104	—	106	—	69	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 63百万円 (△26.1%) 28年3月期第1四半期 85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	16.14	—
28年3月期第1四半期	12.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,848	3,601	61.6
28年3月期	5,690	3,663	64.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,601百万円 28年3月期 3,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,362	17.1	268	12.4	265	11.2	176	14.7	32.34
通期	6,776	9.7	577	2.5	582	3.0	367	1.1	67.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年7月25日)公表いたしました「平成29年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	5,500,000 株	28年3月期	5,500,000 株
29年3月期1Q	51,241 株	28年3月期	51,241 株
29年3月期1Q	5,448,759 株	28年3月期1Q	5,448,777 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による積極的経済・金融政策によって、企業業績や雇用環境の改善などが見られ、緩やかな景気回復基調を維持しております。しかしながら、新興国の景気下振れや英国の国民投票によるEU離脱決定の影響によって、円高・株安といった急激な相場変動が生じ、世界経済の不確実性が高まる状況となりました。

このような状況のもと当社グループは、引き続きFA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等に使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件の受注を確保いたしました。とりわけ、FA装置においては、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置等、更に、有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業向けの大型カスタムクリーンブースや特殊（専用）フレームによる構造体等、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開し、受注を確保いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,681百万円と前年同四半期と比べ332百万円（24.7%）の増収、営業利益は、138百万円と前年同四半期と比べ33百万円（32.0%）の増益、経常利益は131百万円と前年同四半期と比べ25百万円（24.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、87百万円と前年同四半期と比べ18百万円（26.7%）の増益となりました。

なお、平成28年5月9日付「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の「次期の見通し」にて公表いたしました2020（平成32）年度までの倍増計画の一環として、まず平成28年6月1日には、今後、大きな成長が見込まれるASEAN地域の生産設備等の「自動化の波」にお応えすべく、更なる事業拡大に向けての機械設備拡充及び資本の充実と財務基盤強化を図ることを目的に、海外子会社への増資〔増資額：6千万タイバーツ（平成28年3月31日現在の為替相場による円換算額：191百万円）〕を決定いたしました。

更に、平成28年6月16日には、今後のIoT（Internet of Things/モノのインターネット）時代を見据え、業務及び生産の効率化、集約化を図り、特にFA装置等の受注拡大を目指す重要な拠点として機能させることを目的に、富山県中新川郡立山町に用地を取得したうえ新工場を建設すること（投資総額：約850百万円）を決定いたしました。

当該計画の達成に向け、更なる全社的な業務効率化を図る諸施策を継続的に展開してまいり所存であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャTM」及び「マーキングシステムTM」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

一般の材料・部品は、引き続き好調を維持したうえ、「カクチャTM」を利用して選定した部材や部品の引き合い、及びこれらの組立品として納品する案件等の受注が大幅に増加いたしました。また継続的な受注があるFA装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件についても、順調な需要に支えられ、売上高は増加となりました。なお、これらは第2四半期以降も受注、売上ともに順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は940百万円（前年同四半期比148.8%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進し、当第1四半期連結累計期間では、自動車部品製造企業に対する洗浄、検査、試験等の単体設備を継続的に受注したことにより、また、FPD業界向けクリーンブース案件については当初予想を上回る受注を得たこと等によって、前年同四半期を上回る売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は465百万円（前年同四半期比102.6%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係については、主要顧客の需要が低調であったため低迷いたしました。機械設備関係の受注が順調であったことにより、前年同四半期を上回る売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は275百万円（前年同四半期比104.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ157百万円増加し、5,848百万円となりました。これは主に、電子記録債権が91百万円、仕掛品が139百万円、原材料及び貯蔵品が39百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が109百万円減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ219百万円増加し、2,247百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が55百万円、電子記録債務が168百万円、賞与引当金が31百万円、それぞれ増加した一方で、未払法人税等が78百万円減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ62百万円減少し、3,601百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上87百万円があった一方で、配当金の支払い125百万円があったことにより、利益剰余金が37百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ18百万円増加し、271百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の238百万円のキャッシュ・インに対し、159百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加131百万円や仕入債務の増加による資金の増加223百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少196百万円や法人税等の支払いによる資金の減少129百万円があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の27百万円のキャッシュ・アウトに対し、19百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が15百万円、無形固定資産の取得による支出が3百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の102百万円のキャッシュ・アウトに対し、116百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出が116百万円あったことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月9日付「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」における平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当連結会計年度に実施する大型設備投資において、その効果に伴う一部数値に精査を要したため、未公表としておりました。このたび精査も完了したことにより、平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を公表いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年7月25日）開示いたしました「平成29年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	252,781	271,417
受取手形及び売掛金	1,793,240	1,683,504
電子記録債権	720,337	811,647
商品及び製品	150,466	165,710
仕掛品	311,781	451,133
原材料及び貯蔵品	315,916	355,656
その他	57,622	58,221
貸倒引当金	△252	△253
流動資産合計	3,601,894	3,797,037
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,863,409	1,785,365
減価償却累計額	△1,125,291	△1,061,789
建物(純額)	738,118	723,576
土地	456,904	456,904
その他	728,634	813,451
減価償却累計額	△456,033	△544,357
その他(純額)	272,601	269,094
有形固定資産合計	1,467,624	1,449,575
無形固定資産		
その他	19,576	21,223
無形固定資産合計	19,576	21,223
投資その他の資産		
その他	603,473	582,138
貸倒引当金	△1,731	△1,731
投資その他の資産合計	601,742	580,406
固定資産合計	2,088,943	2,051,206
資産合計	5,690,837	5,848,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	863,667	919,060
電子記録債務	577,924	746,009
未払法人税等	136,587	58,167
賞与引当金	60,323	91,761
製品保証引当金	479	506
その他	139,678	178,466
流動負債合計	1,778,660	1,993,971
固定負債		
退職給付に係る負債	172,726	182,684
その他	76,423	70,566
固定負債合計	249,150	253,251
負債合計	2,027,810	2,247,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	3,355,916	3,318,582
自己株式	△34,467	△34,467
株主資本合計	3,623,649	3,586,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,196	17,081
為替換算調整勘定	△2,818	△2,375
その他の包括利益累計額合計	39,377	14,706
非支配株主持分	-	-
純資産合計	3,663,026	3,601,021
負債純資産合計	5,690,837	5,848,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,348,990	1,681,622
売上原価	1,013,356	1,272,045
売上総利益	335,633	409,576
販売費及び一般管理費	230,837	271,265
営業利益	104,796	138,311
営業外収益		
仕入割引	916	1,385
受取保険料	-	700
その他	614	343
営業外収益合計	1,530	2,428
営業外費用		
手形売却損	57	113
電子記録債権売却損	81	9
為替差損	-	7,833
その他	3	880
営業外費用合計	141	8,837
経常利益	106,184	131,902
税金等調整前四半期純利益	106,184	131,902
法人税、住民税及び事業税	41,458	52,207
法人税等調整額	△4,686	△8,272
法人税等合計	36,771	43,935
四半期純利益	69,413	87,966
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,438	87,966

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	69,413	87,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,355	△25,115
為替換算調整勘定	△1,126	464
その他の包括利益合計	16,229	△24,650
四半期包括利益	85,642	63,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,678	63,316
非支配株主に係る四半期包括利益	△36	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,184	131,902
減価償却費	24,416	31,196
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,696	31,438
製品保証引当金の増減額(△は減少)	98	27
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△267	9,958
受取利息及び受取配当金	△196	△263
売上債権の増減額(△は増加)	487,506	17,115
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,693	△196,335
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,956	223,477
未収消費税等の増減額(△は増加)	△76,748	△15,272
為替差損益(△は益)	-	7,833
その他	△30,368	46,939
小計	325,632	288,018
利息及び配当金の受取額	124	166
法人税等の支払額	△87,444	△129,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	238,312	159,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,250	△15,443
無形固定資産の取得による支出	△1,935	△3,334
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
保険積立金の積立による支出	△5,754	-
その他	762	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,377	△19,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△28	-
配当金の支払額	△102,874	△116,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,902	△116,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,076	△4,109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,955	18,636
現金及び現金同等物の期首残高	262,243	252,781
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,845	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	376,044	271,417

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	945,378	148.3
装置部門	465,474	102.6
合計	1,410,853	129.3

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
商事部門	工業用砥石	30,694	81.6
	機械設備	99,936	106.0
	工具・ツール・油脂類	102,877	112.7
合計		233,507	104.6

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	1,317,781	191.8	1,120,141	573.7
装置部門	641,719	358.9	504,779	109.0
商事部門	282,014	163.0	189,735	172.9
合計	2,241,515	215.8	1,814,655	236.3

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	940,719	148.8
装置部門	465,474	102.6
商事部門	275,428	104.6
合計	1,681,622	124.7

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第1四半期連結累計期間		
	販売高(千円)	割合(%)	前年同四半期比(%)
キャノン株式会社	532,098	31.6	181.3
東レエンジニアリング株式会社	189,930	11.3	212.4

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。